

事業所名

このこのアート

支援プログラム（参考様式）

作成日

2024

年

12

月

5

日

法人（事業所）理念		その人が生きていくことの糧になることを見つけ、その活力、エネルギーが削がれないようにサポートする						
支援方針		・児童の自信につなげるため、興味のあること、得意なことを見出し伸ばす『強みを見つけ、伸ばす』 ・その児童の生活環境を豊かにするために地域の社会資源を理解、把握する『社会資源の情報収集』 ・進路及び就労システムを理解し、将来への情報提供を行う『進路、就労への情報収集』 ・二次障害を理解し省く支援を行う『あらゆる環境を把握し、二次障害を省く』						
営業時間（平日）		11 時	00 分から	20 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
営業時間（学校休業日）		9 時	00 分から	18 時	00 分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	調理技術や生活リズムの習得を通じて、自立に向けた生活スキルを学ぶ。食事や健康管理、公共交通機関の利用、自己管理など日常生活に必要な能力を育成し、予期せぬ事態への対応力を養う。計画や判断力を養いながら、目標設定や進捗管理で自己成長を促進し、自立した社会参加を目指す。						
	運動・感覚	体幹や足首の安定性を高めるバランストレーニングや、粘土やパズルを使った手先の感覚トレーニングを通じて、バランス感覚や器用さを養います。また、ボール投げや障害物回避などの運動を行い、感覚の統合や身体の反応能力を向上させます。さらに、糸通しやビーズ装飾など指先を使う細かい作業を通じて、日常生活で役立つ精密な手先のスキルを習得します。						
	認知・行動	絵画や手芸を通じて想像力や創造力を育むクリエイティブアートセッションや、パズルやボードゲームを使って論理思考やチームワークを養う活動を行います。思考力トレーニングでは課題解決や推論を通じて意思決定力を高め、クイズやトリビアで記憶力や注意力を鍛えます。さらに、ロールプレイやシミュレーションで社会的スキルや対人関係能力を向上させ、実践的な行動力を培います。						
	言語 コミュニケーション	ジェスチャーやコミュニケーションボード、PECSを活用し、非発語児童の意思や感情表現を支援します。共同作業やアートプロジェクトを通じて、児童同士の協力やコミュニケーションを促進します。また、ソーシャルストーリーや役割プレイを用いて、社会的な場面での適切な行動やスキルを学びます。さらに、障害特性に応じた読み書き支援を行い、基礎的な能力向上を目指します。						
	人間関係 社会性	チームビルディングやアウトドア活動を通じて、児童同士や職員との信頼関係や連帯感を形成します。地域団体との連携で社会貢献活動を行い、社会性を育む機会を提供します。また、対人スキルトレーニングでは、コミュニケーションや協力、リーダーシップの向上を図り、自己理解や感情コントロールの支援を通じて、自己成長を促します。						
家族支援		家族への相談や助言を通じて、児童の成長や家庭での支援をサポートします。保護者が安心して子育てできるよう情報提供や心の支えとなる支援を行う。		移行支援		移行に向けた就学先との調整、就学先との支援内容等の情報共有や支援方法の伝達、受入体制づくりへの協力や相談援助への対応等の支援、本人が次のステップに進みやすい支援を行う。		
地域支援・地域連携		地域の資源を活用し、学びやレクリエーションの場を提供します。地域イベントや教育機関と連携し、社会参加を促進。さらに、自治体や関連団体とのネットワークを構築し、本人・家族が安心して地域で暮らせる環境作りを目指す。		職員の質の向上		職員の専門知識や支援技術向上を目的とした研修を実施し、最新の支援方法や情報を共有します。定期的な振り返りやフィードバックを通じて、より質の高い支援を提供できる職員の育成を支援する。		
主な行事等		・クッキング・外部講師のお楽しみ学習・収穫体験・外出（買い物学習、電車の乗り方など）・ピッツァ教室・外食・地域交流（近くの放デイと合同行事） ・縁日・クリスマス会・BBQ・音楽イベント参加・地域店舗への作品出店						

5 領域・インクルージョン__運営規定内容（このこのアートグループ）

【5 領域との関連について】

「健康・生活」

・自立に向けたクッキング

基本的な調理技術や食材の扱い方を学びながら、自分で食事を作る楽しさや重要性を理解する。レシピの選択や食材の購入、調理方法の決定など、料理に必要な計画や判断力を養う。

・日常生活のスキルトレーニング

睡眠、食事、排泄等の基本的な生活のリズムを身に付けられるよう支援する。また、健康な生活の基本となる食を営む力の育成に努めるとともに、楽しく食事ができるよう、口腔内機能・感覚等に配慮しながら、咀嚼・嚥下の接触機能、姿勢保持、手指の運動機能等の状態に応じた自助具等に関する支援を行う。

・交通機関の利用トレーニング

バスや電車の乗り方や、地図の読み方など、公共交通機関の利用方法を実践しながら身につける。交通機関を利用することで、自立した外出や社会参加が可能になるスキルを身につける。

・自己管理プログラム

こどもが食事、排泄、睡眠、衣類の着脱、身の回りを清潔にすること等の生活に必要な基本的技能を獲得できるよう、適切な時期に適切な支援をこどもの状態に応じて支援する。目標設定や進捗チェックを通じて、自立した生活を送るための自己成長を促す。

・予期せぬ状況への対応トレーニング

緊急時の連絡先や対処方法、地域の安全な場所の把握など、予期せぬ状況に対応するための準備を行う。シミュレーションやロールプレイを通じて、安全な行動や適切な判断力を身につける。

「運動・感覚」

・バランストレーニング

ボールやクッションを使ったバランスボードやバランスディスクの上でのトレーニングを行い、体幹や足首の安定性を向上させる。目を閉じた状態でのバランス練習や、異なる表面でのバランス保持を行うことで、バランス感覚を養う。

・手先の感覚トレーニング

粘土を使った造形活動や細かいパズルの解き方など、手先を使った感覚を鍛える活動を実施する。指先で小さな物をつかんだり、マニピュレーションを行うことで、手先の器用さや感覚を高める。

・フィジカル・センサリー・インテグレーション

ターゲットを目指してボールを投げたり、障害物を避けながら移動するなどの運動アクティビティを行う。様々な感覚を同時に使うことで、身体全体の調整や反応能力を向上させるトレーニングを実施する。

・ファインモータースキル向上プログラム

細かい作業や手先のコントロールを必要とするアクティビティを通じて、指先の精密さや手の器用さを向上させる。糸通しやビーズ装飾、指先での書字練習など、日常生活で役立つスキルを練習する。

「認知・行動」

・クリエイティブアートセッション

絵画や手工芸を通じて、想像力や創造力を刺激し、認知機能の向上を図る。

特定のテーマに沿った制作活動を通じて、問題解決能力や発想力を鍛える。

パズル・ボードゲームデー

様々な難易度や種類のパズルやボードゲームを提供し、論理思考や問題解決能力を養う。

チームで協力してゲームを進めることで、コミュニケーション力やチームワークも促進する。

思考力トレーニングワークショップ

課題解決や推論、論理的思考を鍛えるためのゲームや活動を提供する。

問題解決の過程で、意思決定や情報処理能力の向上を図る。

クイズ・トリビアチャレンジ

テーマに沿ったクイズやトリビアゲームを行い、参加者の記憶力や注意力を鍛える。

競争や協力を通じて、自信や積極性を高める。

ロールプレイ・シミュレーション

様々な役割や状況を想定したロールプレイやシミュレーションを通じて、社会的なスキルや対人関係の向上を図る。実際の状況に対する適切な行動や意思決定の練習を行う。

「言語・コミュニケーション」

ジェスチャーを用いたコミュニケーション

ジェスチャーを使ってコミュニケーションを促進し、非発語児童とのコミュニケーションを支援する。

児童同士がジェスチャーを学び、コミュニケーションを図る場を提供する。

コミュニケーションボードや PECS を活用したコミュニケーション

コミュニケーションボードや絵カードを使って、非発語児童が自分の意思や感情を表現するためのサポートを行う。児童同士がコミュニケーションボードや PECS を共有し、コミュニケーションを通じて相互理解を深める。

共同作業やプロジェクト

児童同士が共同で作品を制作する工作やアートプロジェクトを行うことで、コミュニケーションを促進する。

グループでの作業やプロジェクトを通じて、協力や共同作業の重要性を体験する。

ソーシャルストーリーや役割プレイ

ソーシャルストーリーを活用して、児童同士の関わりやコミュニケーションの場面を理解し、適切な行動を学ぶ。

役割プレイを通じて、日常生活や社会的なシチュエーションにおけるコミュニケーションスキルを養う。

読み書き能力の向上のための支援

発達障害のこどもなど、障害の特性に応じた読み書き能力の向上のための支援を行う。

「人間関係・社会性」

チームビルディング活動

児童同士や職員との協力を促進するために、チームビルディング活動を実施する。

ゲームやアウトドア活動などのチームイベントを通じて、信頼関係や連帯感を醸成する。

コミュニティ・アウトリーチプロジェクト

地域の施設や団体と連携して、ボランティア活動や社会貢献活動を行う。

児童が社会資源を体験し、地域社会への貢献や交流を通じて、社会性を育む。

レクリエーション・アウトドア活動

児童同士や職員との関係を深めるために、レクリエーションやアウトドア活動を通じた交流の場を提供する。公園や動物園へのおでかけ、ピクニックやキャンプなどのアウトドア体験を通じて、自然とのふれあいやリラックスを促進する。

対人スキルトレーニング

コミュニケーションスキルや協力能力、リーダーシップなど、対人関係を築くためのスキルをトレーニングするプログラムを実施する。ロールプレイやグループディスカッション、フィードバックセッションなどを通じて、コミュニケーション能力やチームワークを向上させる。

自己の理解とコントロールのための支援

大人を介在して自分のできること、できないことなど、自分の行動の特徴を理解するとともに、気持ちや情動の調整ができるように支援する。

【インクルージョンの推進に向けた取り組み】

「地域資源の活用」

地域の公共図書館や公民館、スポーツ施設などの資源を活用し、児童の学びやレクリエーション活動の場を提供する。地域の施設や団体と連携し、児童が地域社会に溶け込みながら豊かな経験を積む機会を提供する。

「地域イベントへの参加」

地域で開催されるイベントや行事に積極的に参加し、児童の社会参加や地域への貢献意識を高める。地域のお祭りやイベントに出展したり、地域の活動にボランティアとして参加することで、地域とのつながりを深める。

「地域教育機関との連携」

地域の学校や教育機関と連携し、放課後等デイサービスでのプログラムを補完する取り組みを行う。地域の教育機関と協力して、児童の学習支援や社会性の育成に努める。

「地域ネットワークの構築」

地域の自治体や関連団体と協力し、地域全体での障がい者支援のネットワークを構築する。地域の様々な関係者と協力し、障がいを持つ児童やその家族が地域社会で安心して暮らせるよう支援する。

これらの取り組みにより、地域との連携・インクルージョンに向けた支援が強化され、地域社会全体が障がいを持つ児童やその家族を包括的に支援する体制が構築することを目指します。